

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

1

Jan 2019
No.286

迎春万歳



謹賀新年



代表理事組合長

黒井徳夫

自己改革の着実な実践と

経営基盤の確立に向けて

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、日頃より農協事業全般につきましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国内経済につきましては、雇用・経済環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されています。

一方、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融

資本市場の変動の影響等、その先行きは不透明であります。

農業政策では、安倍政権下において、農林水産業の「成長産業化」が打ち出され、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づいて、農業の競争力強化に向けた政策がすすめられてきました。

また、政府は「農協改革集中推進期間」にあたる2019年5月末までの自己改革の進捗状況をフォローアップするとともに、改正農協法附則に基づき、2021年3月まで、自己改革の実施状況や組合員の事業利用状況を調査し、その結果

をもって、農協制度に関する必要な措置、准組合員の事業利用規制のあり方の結論を得るとしています。

当JAとしては、平成30年の新規事業として、7月30日に産直施設「んめ農マルシェ」を立ち上げ、10月17日には通所介護施設「えがお・デ・あいと」をオープンしました。今後、組合員・地域の方々の負託に応える事業を展開し、地域貢献出来るよう取り組んで参ります。

平成30年産農産物の作柄については、7月梅雨明けからの猛暑、8月の度重なる豪雨と寡照及び低温、9月登熟期の気

候変動により管内における作柄は大きく減少しました。

水稻については、農水省発表の全国作況指数は99の「平年並」、山形県は「96」庄内「95」の「やや不良」となりました。当JAの集荷実績は、747、135俵（平成30年11月29日現在）、1等米比率99・0%となり、様々な気象状況の影響で、登熟が緩慢になり下米が多く減収が目立つ結果となりましたが、品質は、平年を上回る等級比率でありました。

園芸作物については、7月の猛暑による高温で着果不良などの生育障害が発生

したことや、8月の集中豪雨による浸水等の被害により、作柄としては平年より減収となる品目が多くなりました。

その様な中、園芸販売高の向上に向けた支援事業として、共選設備の整備や共選利用による経営体系について推進を図り拡大に努めた結果、枝豆や長ねぎについては、昨年以上に共選集荷の利用が拡大しております。

庄内柿については、台風25号の被害等により平年に比べ集荷量は減少し、大玉比率も62・2%という結果になりましたが、多くの生産者から大玉生産比率を高めるための摘蕾摘果等に取り組んで頂いた事により、販売単価を引き上げ、販売高並びに生産者手取りの向上に繋げる事が出来ております。

園芸販売高40億円の目標に向けた取り組みについては、共選集荷の強化を図るため藤島集荷場へ新たに大型冷蔵施設を導入し、大量ロットに対応した施設整備を行いました。また、重点品目の中から新たに6品目を選定し、団地化の拡大・共選集荷の拡充に向けた取り組みも進めて参ります。

月山ワインについては、7月に開催された『日本ワインコンクール2018』において「豊稔神話甲州」が最高位の金賞を受賞し、数多くの商品が各ワインコンクールにおいて入賞を果たす等、前年に引き続き、月山ワインの質の高さをPRすることができました。

原料については、育苗ハウスを利用した醸造用葡萄の出荷も本格的に開始され、奨励品種であるシャルドネは約1トになり、その品質も極めて優れており「2018ワインテージ」は期待の持てる結果となりました。

畜産については、和牛繁殖雌牛の導入・優良繁殖雌豚の導入を行い、生産基盤の維持・拡大に取り組みました。また、畜産クラスター事業による畜舎の増改築や機械等の導入を行い、生産効率向上を図りました。今後も経営安定に向け再生産が確保できる支援に取り組んで参ります。生産資材については、肥料銘柄の集約による低価格化や、農薬の超大型規格「水稻除草剤」の取り扱いを拡大し、出荷資材については、県下統一規格による低価格化へ取り組むなど、生産コスト低減に向け事業を展開致しました。

米政策をめぐる生産調整の見直し後、初めての米生産となった30年産については、関係者が一体となり生産調整を進めた結果、現在、需要と価格は安定しています。しかし、人口減少等により今後一層の需要減少が想定され、年間の需要減ペースが従来の8万トから10万トに拡大する傾向にあります。その一方、生産調整2年目で増産に向かう産地が出るとの見方も強い中、適正生産量に基づき需要に応じた生産が出来るよう、今以上に関係者が一体となり取り組む必要があります。

また、食の安全確保対策に向けた生産履歴帳管理を徹底し、担い手育成対策としての農家訪問による相談機能や法人組織等への記帳代行業務によるサポートなど、地域行政と連携し取り組みを進めております。

今後は、地域合意による営農ビジョンの再構築を勧めるため、農地の面的な利用集積、多面的機能の維持、鳥獣害対策など行政とJAグループが一体となった取り組みを行って参ります。

食料・農業・農村を取り巻く環境が年々厳しさを増す中、平成31年度は、昨年11月5日に開催された第28回JA山形県大会の決議に基づき、「新長期基本構想」の事業指針の実現、その具現化に向けて2年目となる中期経営計画の取り組みを柱とした「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けた取り組みのさらなる実践と、その実践を支える盤石な経営基盤の確立を通じて、組合員・地域の皆様とともに農業と地域の未来を切り拓くべく役職員一丸となって進めてまいります。組合員・地域の皆様におかれましてもご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年、平成31年が、組合員並びに地域の皆様にとりまして、明るい展望が持てる年となりますように、ご健勝とご繁栄をご祈念申し上げ、新春のご挨拶いたします。

本年も何卒よろしく お願い申し上げます

代表理事組合長	黒井 徳夫
代表理事専務	宮崎 重美
常務理事	五十嵐 善昭
理事	海藤 喜久男
理事	小野寺 正樹
理事	阿部 一志
理事	田中 康一
理事	足持 勝光
理事	菅原 久幸
理事	大沼 恒司
理事	太田 利光
理事	川井 好勝
理事	小林 茂勝
理事	原林 修一
理事	鈴木 淳
理事	渡部 林一
理事	上林 馨
理事	佐藤 弥
理事	小丸 聖
理事	丸山 富志
理事	武田 源之助
理事	斎藤 浩幸
理事	佐藤 清一
理事	坂藤 仁
代表監事	佐藤 勝一
常勤監事	阿部 健一
監事	鈴木 善一
監事	矢花 由紀子
職員	齋藤 正志

J A庄内たがわ・地域おこし協力隊

「地域×農業×可能性」

人口減少や高齢化、担い手・労働力の不足、政府による農協・農政改革など、わが国の食糧・農業・農村を取り巻く環境が厳しさを増しております。

今回は、地域を活気づける地域おこし協力隊の方々をお招きし、農業や地域の振興を掲げるJ Aの役職員と「地域活性化の可能性」について対談を行いました。



黒井 徳夫
代表理事組合長



伊藤 秀和さん(34)



小玉 美恵子さん(41)



竹嶋 碧さん(31)

三川町の地域おこし協力隊。神奈川出身。役場を拠点に、イベント情報等を発信中。

鶴岡市の地域おこし協力隊。東京都より転入。宝谷地区のふるさとむら宝谷を拠点に活動中。

庄内町の地域おこし協力隊。京都府出身。立谷沢地区の北月山荘を拠点に活動中。



齋藤 学
企画管理部長

齋藤企画管理部長 J Aは農協改革を農業者の所得増大、農業生産の拡大、そして地域の活性化の3つの柱で取り組んでいます。今回は、鶴岡市、庄内町、三川町の地域おこし協力隊の皆様と一緒に「地域の活性化」をテーマに対談して参ります。

黒井組合長 地域農業をどう活性化していけるかが課題であります。高齢化や担い手不足等の問題を打破し、解決していくことは簡単ではありません。農業が基本であるこの地域を皆様が客観視すると感じることもあるかと思いますが、この対談を通してヒントになるものが得られればと思います。最初に、皆様が地域おこし協力隊に応募するきっかけは何でしたか。

小玉 2018年8月から鶴岡市宝谷地区で活動しております。以前は東京都に住んでおりましたが、在来作物などをテーマにした映画「よみがえりのレシピ」を観て、鶴岡市という地域に関心を持ち、注目していました。何か貢献していけることはないかと考えていたときで、同市の募集に応募しました。現在は、宝谷地区の蕎麦屋さんのお手伝いと、蕎麦を使い6次産業の加工品開発を担当しております。

伊藤 2018年5月から着任して、SNSでの情報発信、通販サイトの運営、観光協会の運営サポート業務を担当しております。出身は横浜市で、サラリーマンを10年しましたが、東京で独立しようかと、自分の経験を生かして何かをしたいと模索していたのと同時に、子育てに課題を感じていたときでもあり、地方暮らしに興味がありました。

竹嶋 2016年10月に着任し、現在は、庄内町立谷沢地区の北月山荘を拠点に、庄内町における交流人口の拡大と自然遊びのインタープリターをしております。応募するきっかけは、山に関わる仕事をしたくて検索していたら庄内町を発見したこと、もう一つは、関西にいる家族や友人に自慢できる場所を選びたかったということでした。こちらに来て、山菜の味にはびっくりしました(笑)。

伊藤 やはりお米ですかね。「つや姫」はこんなにおいしいのかと感じました。今までご飯一杯で満足していましたが、おかわりするようになりました。子どももバクバク食べています。

竹嶋 全部おいしいですが、水ですね。コヒーを地元の天然水で作ると、まろやかな味になります。

組合長 J Aでは「ブナの水音」という飲料水を販売しています。立谷沢川を流れるブナ林の伏流水を汲んで販売しており、美容効果のシリカも含まれているようです。

鶴岡市宝谷地区では、村おこし等の活動に意欲的な地域だと感じていますが、この地域をどのようにしていきたいと考えていますか。

小玉 宝谷地区の方々がどうしていきたいかということが重要だと考えます。課題を見つけることは簡単なのですが、解決していくことが大変だと感じています。高齢化が進む地域ですが、私が関わることで若い人たちの結びつきを大切に、一緒に動きをというけたらと思います。現在、菓子製造業の許可を取得するための活動中です。

組合長 蕎麦を基とする商品を開発し、所得を増やし、地域を潤わせていけるか。その後、後継者育成のためにどう誘導していけるかが重要ですね。

小玉 そうですね。蕎麦屋で働く方々は80代が大半で、新メニューを考案しても現状維持を望む声が多いのも実態です。



組合長 しかし、80代の方々が作っているという売り出し方もあるのではないのでしょうか。全てを高齢化だと嘆いていては前に進まない。どう活かすかがテーマになりそうですね。

伊藤 課題として感じていることは、三川町の農業は家族経営が基盤になっており、農家の皆様も現状維持を求めているように感じます。販路の開拓や売り出し方にもっとお手伝いできたらと考えております。農地の利用方法も再度検討してみたいのではないかと思います。

竹嶋 山の芋の特産品にしようとして練っていた時期がありましたが、マーケティングに詳しい人がおらず、アドバイザーのような人がいれば円滑に進むのではないかと感じました。同地区に2018年、6次産業化共同利用加工場がオープンし、新たにデザイナー担当と食担当として青森県と沖縄県から地域おこし協力隊が加わったこともあり、若い人も高齢の人と一緒に新しい何かを作り出せたらと思います。

組合長 物を作って売る際、商品にストーリーが必要であり、他と何が違うのかという「売り」がないとその他大勢になってしまうという難しさがありますよね。

また、伊藤さんが言うように農地の利用方法として、農地を水田以外の農作物栽培に利用し、所得を得ていくことを考えていかなければ、地域の農地を守っていくのは難しいと思います。地域おこしに向け、J Aと連携・協力できる点はあります。

小玉 イベントをする際、J Aとの協力が得られれば集客も見込めるものになるかと思っています。

伊藤 イベント企画時に情報発信の協力がある大きな力を借りて情報発信ができれば、庄内のいろんな人を取り込んでいけると思います。事業を起こすと考えた場合、農家さんや土地・作物はという

は魅力的な資源だと感じています。
組合長 SNSでの情報発信が主流だと思いますが、苦勞している点や工夫している点がありますか。

小玉 相手が見えない分、どのように人の心を掴んでいけるかが難しいですね。

竹嶋 若い人や遠くの人へ情報発信するツールになっていますが、この地域で頑張ろうと活動していく中で、地域の方々とどう絡んでいけばいいのかわからないというのが正直なところです。地域に溶け込んでいく術を模索しています。

伊藤 何かをする際、関係人口を増やしていくことが重要だと感じています。現在、町内で活躍する人にインタビュー取材し、SNSで発信していますが、そこから関係が生れた方たちと一緒に三川町へお金が流れる仕組みを作ろうと話しています。

組合長 農業振興において、J Aは行政がなければならず、行政もJ Aがなければならぬ表裏一体の関係であります。皆さんの活動においてもJ Aと連携していくと活動しやすい場面もあるかと思えます。

齋藤企画管理部長 2019年の目標や抱負を教えてください。

伊藤 事業を立ち上げることです。着任1年目は学習期間として、いろんな人や場所に出会い、知識や資源を生かし、町や自身のためになるような仕事をしていきたいと考えています。

竹嶋 北月山荘周辺には自然の魅力がふれていますので、自然体験プログラムを作り上げることが目標です。訪れた方がリピーターになってくれるよう、または住みたいと思ってくれるような仕組み作りをしていきたいです。

小玉 今抱えている課題を少しでも改善していくことです。田舎ならではの丁寧な暮らしを心掛けていきたいですね。

齋藤企画管理部長 参加された方々の考えや思いを聞くことができ、大変よい対談となりました。今後も地域の活性化に向けて協力していければと思います。本日は大変ありがとうございました。



音楽で人を感動させたい！

ENJOY LIFE

エンジョイライフ

最近では三線も始め、沖縄県へ
学びに行ったこともあります。



羽黒支所管内

伊藤 伸さん(60)

元々フォークソングが好きで、高校時代は興味本位でギターを弾いていました。演奏を本格的に始めたのが17年前。小学生だった息子の担任の先生がギターを弾く姿が輝いていて、私もやりたいと思ったのがきっかけでした。

現在1人での弾き語りや、バンド「羽黒おっちゃんズ」のメンバーとの演奏を楽しんでいます。「聞いた人を感動させたい！」との思いで、友人の誕生日会や息子の結婚式で演奏したこともあります。涙を流す方もいて「演奏してよかった」と心から思いました。

最近から挑戦中の詩吟とギターを組み合わせ、自分にしか出来ない音楽を奏でることが目標です。毎日の充実のために、趣味の時間が大切だと感じています。

SHONOSEI TRY

庄農生トライ

日本学校農業クラブ連盟山形県大会 家畜審査競技「肉牛の部 優秀賞」

全国大会出場 喜びの声

生物環境科3年 佐藤 早南さん 鶴岡市



私は、小さい頃から動物が好きだったこともあり、庄内農業高校に入学しました。2年生のオープン選択の授業では「畜産」を選び、日々の実習で家畜の一般管理の仕方を学びました。管理作業に慣れてきた頃に、畜産の先生から「農業クラブの家畜審査競技会に出てみないか」と言われ、出場することを決意しました。牛の見方が書いてある資料等で学習を続け、背中がま

っすぐなことや人が近づいても気性を荒らげない牛など色々なことについて学びました。

昨年は東北大会で入賞できませんでしたが、今年の6月その悔しい想いをぶつけるべく今年も県大会に出場しました。筆記試験を含め母牛も子牛もすごく難しく、順位をつけることに苦勞し、自信はなかったのですが、昨年同様に優秀賞を獲得。残念ながら東北大会家畜審査競技会の開催はありませんでしたが、全国大会に出場することとなりました。全国大会は10月24日に鹿児島県で行われ、自分にとって貴重な経験となりました。

高校卒業後は、専門学校で畜産と乳製品についてさらに詳しく学び、将来はたくさんの人を笑顔にできるようなチーズなどの乳製品や、加工品を消費者に届けたいと思います。

家族みんなで行う農業経営

FAMILY FARM

ファミリーファーム



旬になると、赤やピンク色の
鮮やかなシクラメンがハウス
いっぱいに広がります。

新余目支所管内

成澤 亘さん(36)
真理子さん(36)

(亘さん) 稲作・花き農家で育った私は、高校生の時に就農を決意。県立農林大学校を卒業し、福島県で約1年半、花き栽培の研修を受けた後、父母と一緒に農業に従事しています。現在は、はえぬき、ひとめぼれ、つや姫を計6品種で作付けしている他、シクラメン、カーネーションを主力に、960坪のハウスで花き栽培しており、各地のフラワーショーやコンテストにも出品しています。

母の日に需要期を迎えるカーネーション。春の気候変化にすぐ対応しなければ、開花時期にズレが生じます。その為、毎春の気候にはすごく敏感になりますし、長年栽培していても見極めることは難しいですね。

約10年前からは妻も加わり、二人三脚の農業。私が出張や研修に行く際は、ハウスを任せることが出来るととても心強い存在です。今後は、現在の父母を含めた家族経営を軸にしながら、従業員を雇用出来るような経営規模を構築していくことが目標です。



ケンカもするけど、
ニコニコ仲良しな兄弟です

AITO KIDS

あいとキッズ

藤島支所管内 加藤 瑛汰くん(5)・煌汰くん(4)

今春、小学生になる瑛汰くんは、優しくて面倒見の良いお兄ちゃん。最近、補助輪なしで自転車に乗れるようになりました。自宅で採れた果物や野菜が大好きです。

甘えん坊で負けず嫌いな煌汰くん。運動を頑張っていて、今はなわとびに挑戦中です。ごはんフルーツが好物で、もりもり食べて元気いっぱいです。

ご家族は「ケンカしてもいい。ずっと仲良く、手を取り合いながら大きくなってね」と話してくれました。



つきたてのお餅は美味しいね!

みかわ保育園・みかわ幼稚園収穫感謝祭

当JA青年部・女性部三川支部は11月28日、三川町立みかわ保育園・みかわ幼稚園で、104人の園児と餅つきを行った。

青年部員の実演後、園児らは杵を一生懸命持ち上げ「ヨイショー」と元気な掛け声に合わせ楽しんだ。給食の時間に女性部員があんこ餅と汁餅にして振舞い、一緒に食べて交流した。



地場産食材を使った給食を味わう

JAが行政に食材を提供

学校給食を通して地産地消を学んでもらおうと、当JAとJAあまのめは12月6日、庄内町の幼稚園、小・中学校12施設の給食用に、精米「つや姫」70kgと「高品質庄内豚」18kg、当JA立川支所からは庄内豚30kgを贈った。この地産地消の取り組みは、農政対策事業の一環として行われており、両JAが毎年、同町教育委員会に給食の食材として提供している。



産直を巡り、販売の工夫を学ぶ

女性部新余目支部 産直施設巡り

当JA女性部新余目支部「花・野菜グループ」の部員9人が11月22日、鶴岡市内にある産直施設巡りを行った。当JAの「んめ農マルシェ」など5カ所を訪れ、買い物を楽しみながら、店ごとに違う商品の特徴や値段の付け方を学んだ。部員は「産直を1日に何件も巡る経験は初めてで参考になった」と話した。



世界から認められたワインを心ゆくまで堪能

月山ワイン文化の会 月山ワインのタベ

月山ワイン文化の会は12月12日、酒田市で「月山ワインのタベ」を開き、会員約80名がワインと地場産食材を使った料理を堪能した。全商品が飲み放題で提供された他「日本ワインコンクール2018」で金賞を受賞した「豊稔神話甲州」等、プレミアムワインの有料試飲も行われ、ファンが楽しめるイベントとなった。



地域とJAを結ぶネットワーク

各地の話題を追って

人間の食感だけで日本一の米を決める!

第12回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト

「第12回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト決勝大会」が12月1日、当JA新余目支所を会場に開かれた。全国470点の応募から、公募した審査員470人による食べ比べで予選を通過した3部門36点の内、管内から斎藤勝幸さん（庄内町）と齋藤学さん（三川町）がメジャー部門の決勝に進出。惜しくも入賞は逃したが、大健闘を見せた。また、県立庄内農業高校が高校生部門で見事優秀金賞を獲得した。



農業後継者の育成に一役

農業高校に農業用機械を寄贈

庄内地区5JAとJA共済連山形は11月28日、県立庄内農業高等学校へ実習用農業機械としてトラクター1台とロータリー、ハロー、スノーブロー等々を寄贈した。今回初めて企画されたこの取組みは、学習環境の整備を図り、将来の農業後継者を育成していくことが目的。同校で行われた贈呈式に出席した黒井組合長は「より実践的な環境で幅広い知識や技術を習得してほしい」と述べた。県下では、他に県立農林大学校、県立置賜農業高等学校へ農業用機械が寄贈される。



JA NEWS

最高賞の金賞に鈴木仁さんが輝く

つや姫コンテスト2018 名人戦

当JAと当JA特別栽培米連絡協議会は12月9日、JA新余目支所で「つや姫コンテスト2018」を開いた。管内の生産者1142人の中から、予選を勝ち上がった10人の「つや姫」を行政や取引先、JA役員ら審査員が食味官能審査をした。結果は以下通り（敬称略）▽金賞＝鈴木仁（櫛引）▽銀賞＝秋山久喜（櫛引）▽銅賞＝今野聡（櫛引）▽名人＝菅原久勝（羽黒）、上野秀雄（朝日）、難波定男（朝日）、遠藤守（櫛引）、渡部政昭（羽黒）、佐藤博喜（櫛引）、助川正治（羽黒）



雪のように白いネギを関東圏の市場へ

雪中軟白ねぎ 収穫本格化

当JAの特産品「雪中軟白ねぎ」の収穫作業が本格的にスタートした。冬の寒さが厳しい庄内地方で育ったネギは甘みが強く、市場からも高い評価を得ている。現在、同JA集出荷場には太く瑞々しいネギが続々と集荷され、活気をみせている。出荷の最盛期は関東圏の市場を中心に、2月上旬に迎え、3月まで続く。



コインランドリーの竣工を祝う

「SUN SUN あいらんど」オープン

当JAの子会社、(株)あいとサービスが運営する初のコインランドリー「SUN SUN あいらんど」が12月1日、鶴岡市藤島地区にオープンした。この日、竣工式が開かれ、JA全農山形県本部や当JA、施工業者の各代表者ら約30人が出席。黒井徳夫会長の挨拶後、来賓とテープカットで開店を祝った。



池田宏志さんと佐藤正志さんが金賞受賞

第5回 ストック品評会

11月30日～12月1日、山形県と庄内の花き生産組織協議会が主催する「第5回ストック品評会」がイオンモール三川で開かれた。県内各地から出品された106点を審査員5人が審査し、19点が入賞。当JA管内の池田宏志さん（新余目）と佐藤正志さん（同）のスペースストックが、それぞれ金賞に選ばれた。



通年出荷へ向け栽培のポイントを確認

椎茸部会全体研修会

菌床椎茸の栽培技術向上と安定出荷につなげようと、当JA椎茸部会は12月11日、三川・温海地区で全体研修会を開いた。(株)北研の指導のもと、ハウスを巡回し、菌種ごとの特徴や栽培環境、菌床管理のポイントなどを確認した。同部会は、出荷量210tを目標に、関東圏の市場を中心に、2月上旬に迎え、3月まで続く。



命に感謝し祈りをささげる

家畜慰霊祭

当JA畜産課は12月13日、JA本所で藤島・新余目・立川・三川地区の家畜慰霊祭を開いた。畜産農家や関係機関、JA役職員ら約40人が出席。祭壇の前で神事を執り行い、玉串を捧げ供養した。牛や豚の命に感謝する目的で毎年開かれており、他の管内地区では、10月～12月にかけて執り行われた。



年末年始の営業時間

※平成31年1月7日(月)からは、各業務ごと通常営業時間と致します。

		12月29日(土)	12月30日(日)	12月31日(月)	1月1日(火)	1月2日(水)	1月3日(木)	1月4日(金)	1月5日(土)	1月6日(日)
一 般 業 務		休 業								
配 送 セ ン タ ー		休 業								
JAグリーンふじしま店		通常営業	休 業					通常営業 ※4日は初売セール		
資 材 各 店 舗		休 業								
交 通 事 故 受 付		自動車の事故受付は、JA共済事故受付センターでお受けいたします。☎ 0120-258-931								
信 用 窓 口		休 業						通常営業	休 業	
A T M	本所・長沼(藤島) 立谷沢(立川)・南部(鶴引)	9:00~17:00	休 業	9:00~17:00	休 業	休 業	休 業	9:00~19:00	9:00~17:00	休 業
	藤島支所・温海支所 新余目支所・立川支所 羽黒支所・鶴引支所 朝日支所・東郷(三川) 泉(羽黒)・広瀬(羽黒)		9:00~17:00		9:00~17:00	9:00~17:00		9:00~21:00		9:00~17:00
	三川支所									
	念珠関(温海) 福栄(温海)・山戸(温海)		休 業			9:00~19:00				
	藤島Aコープ		9:00~19:00		9:00~19:00	9:00~19:00		9:00~21:00		9:00~19:00
	産直 んめ農マルシェ		通常営業(年末感謝セール第2弾)			休 業		通常営業(新春初売りセール)		
J A 介 護 福 祉 支 援 セ ン タ ー	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)	休 業								
	訪問介護事業所 (ホームヘルパー)	通常営業		予約対応					通常営業	
	福祉用具貸与・販売事業所 (福祉用具レンタル)	休 業								
	通所介護事業所 (デイサービス ながさか)	通常営業	休 業					通常営業	休 業	
(株)あいとサービス	農 機 セ ン タ ー	休 業								
	オ ー ト パ ル	休 業 ※年末年始休業中、事故などの緊急時には最寄りのJA-SSIに連絡していただくと、車両担当者におつなぎ致します。								
	コインランドリー	年中無休(6:00~22:00)								
	J A - S S	福栄SS(温海)	7:00~19:00	7:00~17:00	休 業	7:00~19:00				
		温 海 S S				7:00~20:00				
		新余目SS・羽黒SS 鶴引SS・朝日SS 三川SS・藤島SS	7:00~20:00		13:00~17:00	7:00~20:00				
立谷沢SS(立川)		7:00~9:00 16:00~18:00	休 業				7:00~9:00 16:00~18:00			

い〜となう!

雪中軟白ねぎ

冬の寒さが厳しい庄内地方で育った軟白ねぎは糖度が高く、栄養価も豊富です。雪のように白く柔らかい「雪中軟白ねぎ」をお鍋の具材にどうぞ。

価格 1箱(3本~4本入り×12袋) 2,400円(税別)

発送期間 12月中旬~2月下旬

【お問い合わせ・ご注文】
月山ワイン山ぶどう研究所
Tel: 0235-53-2789
Fax: 0235-53-2966
E-mail: wine@ja-shonai.or.jp
URL: http://www.gassan-wine.com/

ソレイユ・ルバン 数量限定

マスカットベリーA ペティアン(微発泡)

庄内産マスカットベリーAを100%使用。一次発酵途中で瓶詰めし、酵母が生み出す泡を閉じ込めることで微発泡に仕上げました。色調は淡いサーモンピンクでイチゴキャンディのような甘い香りが特徴。軽やかな味わいとキレの良い酸味が心地よい辛口のロゼワインです。

750ml・アルコール分9%・辛口

価格予定: 1,700円(税抜)

【お問い合わせ・ご注文】
月山ワイン山ぶどう研究所
Tel: 0235-53-2789
Fax: 0235-53-2966
E-mail: wine@ja-shonai.or.jp
URL: http://www.gassan-wine.com/

「新たな人材確保に向けたアンケート」回答者への粗品贈呈

アンケート当選者の発表

【10440】
【21587】
【30114】
【41854】
【50285】
【61306】
【80875】

9月に実施しました標記の件につきまして、当選者の方は、ご自身が記入したチラシの番号を証明できる物(半券)を持参して1月末日まで支所営農課へご来所下さい。当選者へ「雪若丸 2kg」を後日贈呈致します。

お問い合わせは営農販売部営農企画課 担い手支援係まで ☎0235-64-3725

JA庄内たがわふれあい交流会

Sweet Valentine Party

参加者大募集

募集人数 男女各20名
(応募多数の場合は抽選となります)

対象者 20歳以上の独身男女

参加費 男性 4,000円 女性 1,500円

お申込方法 平成31年1月18日(金)まで、JA庄内たがわ生活福祉部生活課へ電話、FAX、メールのいずれかの方法で①住所 ②氏名 ③生年月日 ④電話番号をご連絡ください。後日、参加者の方へ直接詳しい日程をお知らせ致します。

お問い合わせお申し込み先 庄内たがわ農業協同組合 生活福祉部 生活課
TEL.0235-64-5834 FAX.0235-78-3883 E-mail seikatsu@ja-shonai.or.jp

または、各支所管理生活課までお申し込みください。

2019 2/2 (SAT)
14:00-18:00
開催場所 グランドエル・サン

俳句教室 年間賞発表

ご入賞おめでとうございます。入賞者には表彰状と記念品を贈らせていただきます。

◎最優秀賞(9月号に掲載)

産土の 網打ち神事 襖滝
鶴岡市本郷 小野寺 一郎

◎優秀賞(2月号に掲載)

水仙の 丘へ登れば 海蒼き
庄内町古閑 早坂 早宗

◎優秀賞(6月号に掲載)

老々の 介護五年や 初夏の風
鶴岡市みどり町 五十嵐 徳美

◎新年詠

建て替はる 羽黒の鳥居
初日浴ぶ 阿部 月山子

「評」産土はうぶすな神で氏神のこと。氏神の襖滝の注連縄を毎年交換するのが習わしとなっていて、その網打ちの情景を過不足なく表現している。

「評」一読して景色が目に浮かんでくる句。南方総の前書のある句。水仙は越前海岸や房総海岸が有名。海蒼きが、明るく大きな表現となっている。

「評」子供たちは成長すると親を離れ都会に就職することが多く、親夫婦は高齢化し、どちらかが病に倒れると、老々介護となる。今後、老々介護が増加するのだと思う。初夏の風が重苦しい句を明るくしている。

福祉介護支援センター

デイサービス

えがお・デ・あいと

できることからやってみよう
明日は今日より多くの「笑顔」を!

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。
昨年10月に開所しました、
デイサービスも
好評をいただいております。
今年も「笑顔」と思いやりの
心でサービスを提供させていただきます。
スタッフ一同

介護のお問い合わせは 福祉介護支援センター
(居宅介護支援・ケアマネジャー)・訪問介護・ホームヘルプ・通所介護・デイサービス・福祉用具レンタル・販売)
〒999-7621 鶴岡市長沼字宮前23-1 Tel.0235-33-8165

編集後記

昨年度より広報担当3名で、様々な現場に出向き、取材を重ねてきました。時には雨に打たれ、泥だらけになりながらも、組合員の皆様の笑顔と元気に力をもらい、農業の楽しさと大変さを伝えてきました。

広報誌に掲載する文章はもちろん、写真撮影もすべて私たちが行っています。これから手作りにこだわり、皆様に愛される誌面をご提供していきたいと考えています。

広報担当：佐藤、小細澤、剣持

温海支所管内 **本間 花梨さん(24)**

今春から、夢であった警察学校に入校します。体力づくりのため、愛犬と一緒にジョギングを頑張っています。料理が好きで、休日は原料にこだわったチーズづくりを楽しんでいます。誰にでも優しい女性になりたいです。

撮影場所=荘内神社(鶴岡市)
衣装協力=東京丸栄

今月号の「心の声」はお休みさせていただきます。


ふれあい情報誌

aito

Jan 2019
No.286



発行 庄内たがわ農業協同組合
〒999-7611 山形県鶴岡市上原島字備中下3-1
TEL.0235-64-3000 電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp
印刷 庄内農村工業農業協同組合連合会

JA庄内たがわホームページ

もっけだねっと

Q 検索